

## 令和3年度 事業実施報告

2年目となった新型コロナウイルスの感染拡大は、令和3年の年明けから本格化したワクチン接種の普及により終息への期待が高まりましたが、年末に、変異したオミクロン株の出現により第6波となって本県をはじめ多くの都道府県で「まん延防止等重点措置」が適用され、引き続き困難な状況が続くこととなりました。加えて欧州ウクライナへの軍事侵攻が始まり、原油や小麦をはじめとする諸々の物価が値上がりし、経済活動に対する重しが増えることとなりました。

一方、労働分野では、県内の本年2月の有効求人倍率が1.40倍とわずかながら改善傾向にあり、求人が求職者を上回る雇用情勢が続いています。令和3年4月1日からは「パートタイム・有期雇用労働法」の施行が中小企業にも適用となり、非正規雇用労働者のさらなる環境整備が求められることとなりました。また、高崎労働基準監督署管内における令和3年の労働災害の発生状況は、休業4日以上災害全体で一昨年と比べ28件減少して494件となりましたが、死亡災害は、4件増加して6件の発生となりました。

このような状況のもと、当協会においては理事会及び通常総会は計画どおり開催したものの、新型コロナウイルスの感染拡大により安全・衛生の各部会議、分会長会議が中止となり、全国安全週間・労働衛生週間説明会、高崎地区産業安全衛生大会、新春特別講演会の行事が2年続けての中止となりました。このため、高崎労働基準監督署のご支援をいただき安全週間、衛生週間説明会資料や労働災害発生状況について、協会ホームページに掲載しました。

また、講習事業についても受講者人数を減らして会場の密を避け、冬季間でも使い捨てカイロを受講者に配布しながら窓を開けて換気に努め、検温や手指の消毒の協力を受講者の方にも求めるなど、感染防止対策を徹底しながら開催しました。この結果、当協会で開催した令和3年度の各種講習会は、全体で48回、受講者数合計1,595名、受講料とテキスト代を含めた講習関連収入は23,779千円となりました。

令和3年度の主な事業活動の経過は、次のとおりです。

### 1 会議関係

- ・ 通常総会 (5月26日開催)
- ・ 理事会 (4月30日、12月3日、3月25日開催、)
- ・ 総務部会議 (11月24日開催 5月、9月、3月は中止)
- ・ 安全部会議 (中止)
- ・ 衛生部会議 (中止)
- ・ 分会長(支部長)会議 (中止)

### 2 行事・講習会等

- ・ 優良事業場等表彰 18件 (表彰式は中止)  
優良事業場表彰 (安全の部4社、衛生の部2社)  
個人功績者表彰 (安全の部5名、衛生の部2名)  
優良労務担当者表彰 (5名)
- ・ 講習会 (48回開催・受講修了者1,595名)
- ・ 各種説明会 (中止、資料はホームページに掲載)
- ・ 高崎地区安全衛生大会・特別講演会 (中止)
- ・ 新春特別講演会 (中止)